

## 岡山大学における男女共同参画推進事業

岡山大学では、文部科学省女性研究者研究活動支援事業「学都・岡大発 女性研究者が育つ進化プラン」(平成 21～23 年度)を契機として、女性研究者の支援に焦点をあてて男女共同参画を推進してきた。第 2 期中期目標では、優秀な研究者を確保・育成する制度の充実と多様な人材が活躍しやすい環境整備を目標とし、女性限定のウーマン・テニユア・トラック制度を導入し、併せて、育児・介護期の研究者に対する研究サポート体制、保育施設の整備等を進めてきた。

### 男女共同参画推進体制

本学における男女共同参画に関する全学的な方針は、岡山大学男女共同参画推進基本計画に基づき、学長を委員長とするダイバーシティ推進委員会で決定され、ダイバーシティ推進本部の下に設置された男女共同参画室がその事業の推進を担っている。男女共同参画室は、①事業推進、②ウーマン・テニユア・トラック(WTT)事業、③持続型人材育成、④ワークライフサポートの4部門体制をとり、男女共同参画事業の推進に取り組んでいる。また、各部局における男女共同参画についても推進を図っており、その状況についてはダイバーシティ推進委員会で確認等を行っている。

### 主な取組内容と成果

#### 1)ウーマン・テニユア・トラック(WTT)事業

平成 21 年度に WTT 教員制度を導入し、テニユアトラック期間終了後に審査を経て、女性研究者を常勤教員として採用する道を開いた。これまでに 16 名を採用し、第 I 期、第 II 期の WTT 教員 7 名が既にテニユアを取得し、常勤教員として採用されている。現在、第 VI 期 WTT 教員 3 名の採用にむけて選考を進めている。この WTT 教員制度は、平成 23 年度～25 年度まで文部科学省「テニユアトラック普及・定着事業」に採択されており、継続した支援を実施している。

#### 2)持続型人材育成

教養講義、WTT 教員研究発表会、交流サロンなどを通して、次世代へのロールモデルを示すとともに、中高校生を対象とした「おかやまサイエンス・トーク」(平成 26 年度:中学・高等学校 10 校訪問)や、オープンキャンパス参加企画「理系の魅力～女子高生の皆さんへ」(平成 26 年度:参加者約 80 名)を実施し、継続して次世代女性研究者の育成に努めている。さらに、本年度は女子中高生の理系進路選択支援プログラムに採択され、実験教室やトークショーを行う「岡大方式サイエンス・トライアル」(参加者約 180 名)を実施している。

#### 3)研究サポート体制

学童保育施設及び病児病後児保育施設の設置や既存保育所の大学施設化により、育児と仕事の両立のための環境整備を行うとともに、女性研究者に対する研究支援員事業により研究のサポートを継続している。また、テニユアトラック教員を対象に複数メンター制を導入しているが、他にも、研究スキルアップ講座(平成 25 年度は「英語論文書き方セミナー」を 2 回)等の実施により若手女性教員の育成に努めている。

#### 4)意識改革・広報

大学構成員の男女共同参画に関する意識改革を行い、働きやすい職場環境の整備に務めることを目指して、ワーク・ライフ・バランスや女性が活躍する職場等をテーマとした、教養科目の開講、交流サロン、管理職セミナー等を開催し、意識啓発に努めている。平成 22 年度以降継続して Newsletter を発行し、教職員及び大学院生への広報活動および意識啓発を図っている。

【連絡先】ダイバーシティ推進本部男女共同参画室

TEL: 086-251-7011 E-MAIL: sankaku1@adm.okayama-u.ac.jp

URL: <http://www.okayama-u.ac.jp/user/jinji/diversity/danjo/>



OKAYAMA UNIV.

# 岡山大学における男女共同参画の推進

岡山大学では、文部科学省女性研究者研究活動支援事業「学都・岡大発 女性研究者が育つ進化プラン」(平成21~23年度)を契機として、女性研究者の支援に焦点をあてて男女共同参画を推進してきた。第2期中期目標では、優秀な研究者を確保・育成する制度の充実と多様な人材が活躍しやすい環境整備を目標とし、女性限定のウーマン・テニュア・トラック制度を導入し、併せて育児・介護期の研究者に対する研究サポート体制、保育施設の整備等を進めてきた。

## 雇用

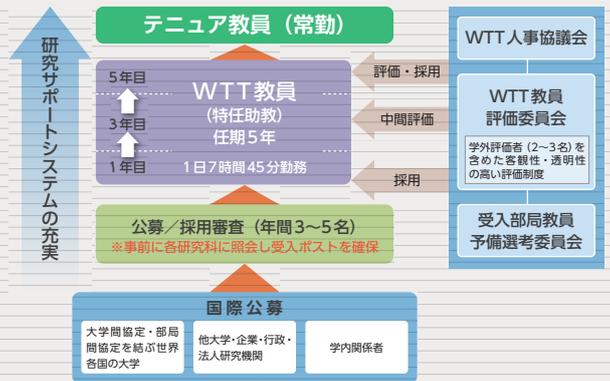
### ウーマン・テニュア・トラック(WTT) 教員制度

WTT採用実績: 16名 (平成22年度~)      テニュア取得者: 7名 (平成25年度~)

WTT制度とは、女性研究者を対象とした特徴あるテニュア・トラック制度。テニュア・トラック教員として採用されると、5年間の任期中に、所属研究科において教員の経験を積み、一定の審査基準に達していると評価された後、テニュア教員として採用。

#### 公募文書へのポジティブ・アクションへの文言記載

岡山大学では、男女共同参画室を推進し、女性教員をサポートしています。女性の積極的な応募を歓迎します。



## 持続性

### 岡大方式サイエンス・トライアル

H26年度「女子中高生の理系進路選択支援プログラム」に採択され、実験教室やトークショーを実施



### おかやまサイエンス・トーク

H23年度よりWTT教員と大学院生が、中学生と高校生に理系分野の研究を紹介し、ロールモデルとして活躍



### オープンキャンパス出展

理系の女子学生・大学院生が女子高校生に研究や大学生活を紹介



### 教養科目での講義を実施

オムニバス形式により男女共同参画の視点に立ったキャリア教育科目を実施

## 研究サポート体制

### 研究支援員制度

出産・育児・介護等により研究時間を確保しにくい教員を対象に週20時間、6ヶ月間研究支援員を配置

### 女性サポート相談室

仕事と家庭・子育ての両立をスムーズに行えるよう、臨床心理士によるカウンセリングや情報提供により支援



### 研究スキルアップセミナー

若手研究者を対象に研究能力の向上を図るために実施(科研費獲得、英語論文セミナー等)



### 保育施設の充実

学内保育所、学童保育所、病児・病後児保育施設を整備  
一般事業主行動計画策定(平成17年度~)  
くるみんマーク取得(平成22年度)

## 意識啓発

## 広報活動

### 交流サロン

男女共同参画推進に関する情報の共有化による意識啓発・改革の促進(のべ400名参加、うち男性3割)



### 管理職セミナー

管理職に対して他大学等における男女共同参画推進状況等を情報提供



### ニュースレター発行

男女共同参画の推進・活動を学内外にお知らせする広報誌として年数回発行



### 意識調査

男女共同参画の実態および研究者を取り巻く環境やニーズ等を把握

